

秋田県から 北海道へ

長谷 恵美子

秋田県立ゆり支援学校 → 北海道真駒内養護学校
(期間：平成30年4月1日～平成32年3月31日)

1 秋田県の教育

○心の教育の充実・発展を目指した「ふるさと教育の推進」（平成30年度学校教育の指針より、一部抜粋）

- ・全教育活動を通して取り組む最重点の教育課題に「地域に根差したキャリア教育の充実」と「問いを発する子どもの育成」を掲げ実践する。前者では、キャリア教育のねらいと成果の共有、学齢や発達の段階を踏まえた体験的な活動の充実、キャリア発達を一層促すための学校間・校種間連携を推進する。後者については、「秋田の探求型授業」の基本プロセスを機能させた授業づくりの充実と「問い」を発するための基盤となる言語活動の充実等、また、学力向上推進事業における学力向上フォーラムが開催をする。

○秋田県の特別支援教育（教育の指針より、一部抜粋）

- ・幼稚園・保育所・認定こども園、小・中学校、高等学校等における支援体制と支援内容の充実を目指す（センター的機能の活用、ユニバーサルデザインの視点による授業作り、合理的配慮の提供等）。
- ・「特色ある特別支援学校・特別支援学級の創造」として、(1)学校・学級の創意工夫と地域資源や教育力を生かし、教育課程に位置付けた計画的、組織的な特色ある教育活動の推進、(2)教科指導等の実践的な授業力向上及び発達の段階を踏まえた自立活動の改善・充実に取り組む。

2 学校や地域の特色ある教育活動（秋田県立ゆり支援学校：由利本荘市）

○「地域とともに歩み、地域で育ち、地域に必要とされる支援学校」をめざした取組

- ・コミュニティ・スクールのしくみを活用した「地域応援活動～みんな元気プロジェクト」や交流及び共同学習の充実とその成果の発信…フラワーロード、クリーンアップ
- ・PTAと連携して、地域で主催する行事へ参加…花いっぱい活動、除雪活動等
- ・市民を招き作業学習班がワークショップの開催…陶芸、ジャム作り等

○授業改善プロジェクトの推進

- ・「授業デザインミーティング」の他、学校間連携の実践として「共同研究」を実践した。小中高等学校の教諭を共同研究者として招き、授業研究会で助言をいただいた。教科指導の視点からの助言は基本に立ち返る意味で貴重な機会であった。

3 私が取り組んできた実践

○授業改善

- ・上記の「授業デザインミーティング」を実践し、年間計画、単元計画を作成。毎授業後のミーティングの実施により改善点を検討し、次時の授業に生かすことを積み重ねた。その結果、一人一人の児童の実態に応じた人とかかわる力、相手に伝える力を伸ばすことにつながった。

○読書活動の推進

- ・県立・市立図書館と連携し、定期的に「団体貸し出し」を利用して、児童生徒に様々な分野の図書を提供した。
- ・廊下に図書コーナーを設置して、図書に身近に触れ親しむ機会を設定した。
- ・生活単元学習及び国語の授業でゲストティーチャーから生徒に「読み聞かせ」の指導をしていただき、老人福祉施設で披露し、お年寄りの方々と交流した。

